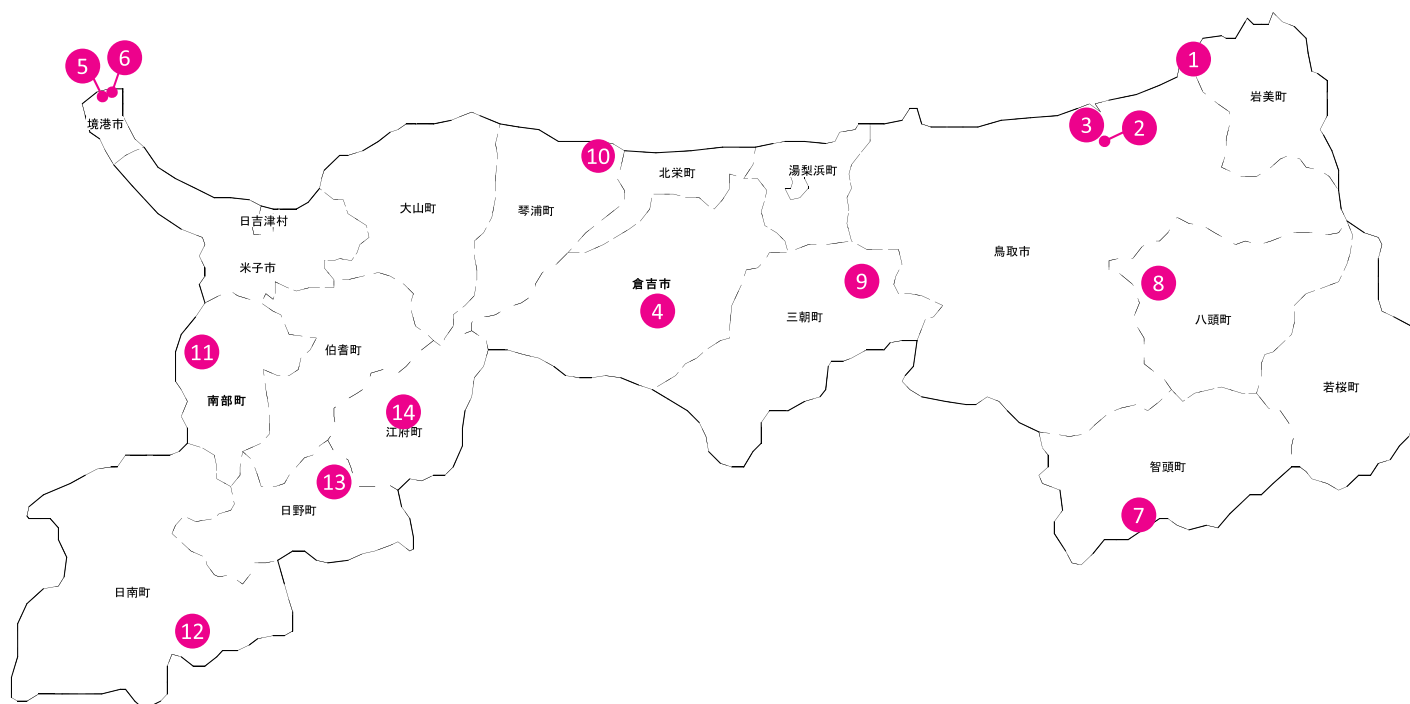


鳥取県

ディスカバー農山漁村 むらの宝」第12回選定) 応募団体等 一覧 鳥取県)

No	選定 団体	部門	市町村	団体名/氏名	該当する取組		
①	地方 奨励賞	団体	鳥取市	株式会社タシマボーリング	水産業	女性の活躍	多様な分野との連携
②		団体	鳥取市	とっとり水土里の女性会	荒廃農地対策	女性の活躍	農村環境・景観保全
③		団体	鳥取市	結梨	農業	6次産業化	食育・教育
④		団体	倉吉市	倉吉市体験型教育旅行誘致協議会	農泊		
⑤		団体	境港市	特定非営利活動法人 未来守りネットワーク	環境保全 農林水 産業・食品産業)	食育・教育	
⑥		個人	境港市	濱野 政和	水産業	官民共創	食育・教育
⑦	地方 奨励賞	団体	智頭町	特定非営利活動法人自然体験まるたんぽう	移住 定住	食育・教育	関係人口の創出
⑧		団体	八頭町	下町水土里会	環境保全 農林水 産業・食品産業)	農福連携	食育・教育
⑨		団体	三朝町	三徳レンジャー	農業	6次産業化	学生・若者の活躍
⑩		団体	琴浦町	大山乳業農業協同組合	農業	企業との連携	環境保全 農林水 産業・食品産業)
⑪		団体	南部町	南部町エゴマ販売促進協議会	農業	荒廃農地対策	関係人口の創出
⑫		団体	日南町	白谷工房	企業との連携	雇用	関係人口の創出
⑬		団体	日南町 日野町 江府町	日野郡鳥獣被害対策協議会実施隊	鳥獣被害防止	高齢者の活躍	
⑭	地方 奨励賞	団体	江府町	農事組合法人宮市	農業	スマート農林水産業	移住・定住

応募団体等所在市町村図（鳥取県）



地方
奨励賞

かぶしきがいしゃ

株式会社タシマボーリング

井戸掘り技術とマサバで水産未来と地域活性掘り起こす！

概 要

- 井戸や温泉の掘削など、各種ボーリング工事を専門に手掛けていたが、井戸掘り技術を活かし地下海水を活用したマサバの陸上養殖を令和3年4月から展開している。
- 「さばみちゃん」をはじめとしたブランドサバの発信により、地域のみならず全国での販路拡大を目指す。
- 規格外サバを地元プロサッカーチーム寄宿舍の食材に提供するなど有効活用により、広告連携を実現している。
- キャリア教育の場として、小学生から大学生の体験学習を積極的に受け入れている。



プロサッカーチームへの規格外サバ提供



高校生職場体験



ブランドサバの「さばみちゃん」

〒680-0871 鳥取市吉成南町二丁目8-15(本社) 0857-53-1767
 〒681-0073 岩美郡岩美町大字大谷2182-484 (地下海水井戸陸上養殖センター)
 E-mail: dtashimab@aioros.ocn.ne.jp



関連情報はこちら ▶

みどり じょせいかい
とっとり水土里の女性会

女性のパワーで豊かな水土里資源を次の世代へ！

概 要

- 平成29年度に設立。現在の会員50名。
- 土地改良区をはじめとした農業農村整備組織は、依然として男性が多くを占めているため、当女性会は、女性が力を十分に発揮することで、地域に新しい風を吹き込み、より多様な視点から水土里の保全と活用を目指す。
- スキルアップを目的とした研修会の実施や、耕作放棄地での作物栽培を通じて農地の再生や景観保全、砂丘地農業の継承に取り組む、その成果を地域や全国に発信。



サツマイモ収穫後にみんなで

成 果

- 女性のスキルアップにより土地改良区の業務改善が図られ、女性の活躍に寄与している。
- 耕作放棄地の解消や景観保全に貢献している。
- サツマイモの植え付けや収穫には、子どもや男性、他県の女性会も活動に参加し、交流が広がっている。
- 農業農村整備分野における全国で4番目の本会の設立により、他県に同様の女性会や全国初となるブロック単位の女性会が設立され、全国的な女性の交流や仲間づくりの輪を広げることができた。



道路法面の植栽活動

〒680-0911 鳥取市千代水4丁目37番地
 0857-38-9500 yoshimura@totirengogonet.or.jp

ゆいりん 結梨

梨と柿の6次産業化で鳥取を元気に！

概要

- 鳥取大学の学生団体で、鳥取県産果樹の知名度向上と規格外の梨や柿を活用した商品開発・販売活動を目的に令和3年に設立。令和7年度は46名で活動。
- 県内6か所の農家と交流を持っており、学生は農薬散布以外のほぼすべての農作業を行うことで労働力を、農家は果樹栽培の知識や技術を提供し合う。
- また、交流農家から規格外の梨や柿の提供を受け、県内企業と協力して商品開発を行うなど、6次産業化にも取り組む。



農作業の様子



梨葉スイーツの販売



子供たちとの収穫体験

成果

- 未利用資源の梨の葉に着目した「梨葉プロジェクト」に取り組んでおり、耕作放棄地の梨の葉を活用した「梨葉バスケットサンド」などの商品化を通じ、耕作放棄地の活用とともに、県内高校生や企業等と連携した新たな名産品づくりに挑戦。
- 子供たちとの収穫体験など、地域との継続的な交流を図ることや、SNSでの情報発信やイベント出店を積極的に行うことで、鳥取果樹の知名度向上や活動の認知向上に貢献。SNS効果で、今年度の結梨新メンバーの加入も増加。

〒680-1417 鳥取市桂見929-7 bank upアジト内
0857-37-3373 yuiline.totto@gmail.com

関連情報はこちら ▶



くらよしいけんがたきょういくりょこうゆうちきょうぎかい 倉吉市体験型教育旅行誘致協議会

いなかといいなか セキガネたいけん

概要

- 平成19年度に協議会を設立。現在の会員37名。
- 過疎化・高齢化が進む中山間地域において、地域資源を活用した教育旅行誘致や観光誘客促進に取り組み、地域活性化や受入家庭等の所得向上を目指す。
- 民泊を利用した田舎暮らし体験ツアーを商品化し、令和6年度は都市部や海外から年間約1,000人の農村生活体験、民泊体験の受入を行っている。



在日外国人高校生との交流

成果

- 受入家庭の収入増や、受入時の食材購入・温泉施設利用などで地域経済に貢献している。
- 鳥取県の教育旅行誘致の一翼を担っている。
- 体験者や受入家庭の人々の笑顔、体験者からの感謝の手紙などで、改めて「人の交流」の素晴らしさを実感している。



インバウンド民泊体験

〒682-0411 倉吉市関金町関金宿1139
0858-45-1122 taiken@sekigane.com

関連情報はこちら ▶



とくていひえいりかつどうほうじん さきも
特定非営利活動法人 未来守りネットワーク
 海～川～山をつなぐ（環境の保護・再生・中山間地域）再生

概 要

- 中海再生プロジェクト「よみがえれ中海」をテーマに、地元若手企業人が環境保護・教育・地域再生を目的に平成16年に設立。
- 中海の水質浄化、魚介類の産卵・育成場や稚魚のすみかとなる藻場を再生させるため、アマモ類の種子採取や移植イベントを定期的に開催。
- 中海で異常繁殖した海藻類を除去・加工し、出雲国由来の海藻肥料として活用（SDGs）。日野町では、約10年前から海藻肥料を使った「海藻米」の田植えや稲刈りイベントを実施。



海藻米の稲刈りイベント



小学生への環境講演



アマモ種子の採取・移植イベント

〒684-0004 境港市大正町38
 0859-47-4330 jim@npo-sakimori.net

関連情報はこちら ▶



はまの まさかず
濱野 政和

水産の街として、自らが地域の軸となり、みんなを巻き込む旋風のような動きで多人数へアプローチ

概 要

- ベニズワイガニ生産者たちが平成17年に結成した「境港ベニガニ有志の会」に飲食店として参画し、平成21年から会長。
- 料理人の知識を生かし料理教室、未就学児のベニガニ食育活動をはじめ、「さかいみなと中野港漁村市」など水産振興の実働部隊として活動。また、メディアにも積極的に露出。
- 地元の高校での調理実習や魚食普及の指導により、生徒達とのつながりを継続しており、生徒達と各種イベントに参加。



未就学児食育 かに集会



未就学児食育 えのは集会



Sea級グルメ講演

〒684-0023 鳥取県境港市京町6（味処美佐）
 0859-42-3817 h-march@gaea.ocn.ne.jp

関連情報はこちら ▶



地方
奨励賞とくていひえいりかつどうほうじん しぜんたいけん
特定非営利活動法人自然体験まるたんぼう

親子で体験する「ちづ暮らし」と「森のようちえん留学」

概 要

- 令和5年度に法人設立。森のようちえん部門、森のがっこう部門、視察研修部門の3事業を実施運営。
- 教育移住の促進に取り組むとともに、移住がかなわない方々に智頭町の魅力や良さを知ってもらうため、森のようちえん体験と智頭暮らし体験を提供。
- 体験参加者をサポートするため、町内の宿泊施設、リモートワーク施設、藍染工房、カフェ、野菜農家と連携。

成 果

- 森のようちえん体験や智頭暮らし体験の提供により、教育移住の促進や、子育て世代の関係人口拡大に貢献。
- 町内の関係者と連携し、観光情報の提供や滞在サポートを行うことにより、体験参加者の満足度が向上。
- 親子で智頭町の豊かな自然環境を感じながら、給食や藍染めを楽しみ、また、子供たちだけで森へ通い、様々な自然体験や仲間との課題解決を経験することで成長を実感。



藍染工房による藍葉のたたき染めを体験



町内カフェの手作り給食



地元野菜のお味噌汁作りに挑戦

〒689-1442 八頭郡智頭町大屋160
0858-71-0033 marutanbou.tizu@gmail.com

関連情報はこちら ▶

したまちみどりかい
下町水土里会

元気に農地とふる里を守り、こころ豊かな暮らしを

概 要

- 集落の農業施設や農地の維持・管理、自然環境保全を担うため、平成19年に集落営農組織を設立。非農家や団体も巻き込み、多面的機能支払交付金を活用し、地域内外の団体と連携して農村コミュニティ及び地域の活性化に取り組む。
- 令和元年から有機農業を推進し、一部エリアは環境省の「自然共生サイト」の認定を受ける。耕畜連携による堆肥利用や、バイオマス発電のメタン発酵消化液の液肥利用に取り組み、有機農産物は学校給食や多様なチャンネルを通じて販売。
- 女性部が不耕作田を活用し、高齢者施設や障がい児童施設と農業体験交流を実施。

成 果

- 有機農産物は、付加価値が評価され取引を拡大。コウノトリが有機栽培田に飛来するなど、生物多様性が回復しつつある。
- 高齢者や障がい児童との農業体験交流により、多様性を尊重した地域共生社会づくりに貢献。
- 集落外の大学生、消費者グループ、環境団体などとの地域協働による交流活動を通じて農村関係人口が拡大。
- 本会の取組が後押しとなり、八頭町は令和7年10月19日に「オーガニックビレッジ」を宣言。



有機栽培田に飛来したコウノトリ



障がい児童施設の子供たちとの農業体験交流



八頭町オーガニックビレッジ宣言

〒680-0471 鳥取県八頭郡八頭町船岡603

みとく 三徳レンジャー

三朝の美味しいお米 全国に届け隊

概要

- 平成21年4月に発足した鳥取大学生で構成する学生団体。
- 鳥取県中部の三朝町三徳地区で休耕田を借りて米を生産。収穫した米、米粉及び米粉を使用したパウンドケーキ等をイベント、道の駅、インターネットなどで販売。
- 農作業や販売活動、6次産業化の実践に挑戦しながら、地域の方との交流に力を入れ、地域の中で農業をすることの楽しさや難しさを学んでいる。



田植えの風景



キュリー祭（三朝町）での販売



レンジャー集合

成果

- 再生紙マルチを利用した雑草抑制、鶏糞等の有機肥料の利用など、環境負荷低減の取組を実践することで温室効果ガス削減に貢献。
- 三徳地区の集会や神社の祭り、水路清掃にも積極的に参加し、販売イベントでは、三朝温泉観光大使として三朝温泉の魅力も発信しており、三朝町の発展・振興に貢献。

〒680-1417 鳥取市桂見929-7
mitokuranger.mail@gmail.com

関連情報はこちら ▶



だいにんにゅうぎょうのうぎょうきょうどうくみあい

大山乳業農業協同組合

鳥取発！未利用資源で酪農家をサポート

概要

- 酪農現場では堆肥の水分調整材として使われるおが粉の価格高騰や調達困難が深刻化する一方、下水污泥から生成されるバイオ炭の有効活用が模索されていたため、企業間連携によりバイオ炭をおが粉の代替として堆肥に活用する取組を開始。
- 家畜ふん尿にバイオ炭を混ぜた堆肥を採草地に施用し、炭素の土壌貯留を図ることでCO₂排出を抑制。令和6年度、J-クジツ制度に登録。



リン酸が多く含まれるバイオ炭



堆肥の切り返し時にバイオ炭を混合



バイオ炭を混合した堆肥を施用

成果

- バイオ炭混合堆肥により、資材コスト削減のほか、土壌の浸透性や保水性が向上し、匂いの軽減pH調整などの効果を確認。飼料用作物の健全な生育と収量の安定化も期待。
- 本取組により、CO₂の排出抑制とともに化学肥料の削減も見込まれ、環境保全と生産性向上の両立に貢献。
- 年間200トン超のCO₂削減が見込まれ、J-クレジットの取得・販売による酪農家への利益還元も実施予定。

〒689-2393 東伯郡琴浦町大字保37-1
0858-52-2211 homepage@dainyu.or.jp

関連情報はこちら ▶



なんぶちょう はんばいそくしんきょうぎかい
南部町エゴマ販売促進協議会
 遊休農地を活用して地域活性化

概要

- イノシシ被害の拡大で遊休農地が増加傾向にあり、被害を受けにくいエゴマ栽培を通じて、遊休農地の有効活用を図る。また、健康食品としてエゴマ油を生産販売することで、地域の活性化を目指している。
- 平成30年に協議会を設立し、南部町の地域振興作物として町の支援を受けている。平成31年から無農薬栽培を行い、肥料の統一により品質の均一化を図っている。



定植作業



鳥取大学生との脱粒作業



販売商品（なんぶの雫 エゴま油）

成果

- ふるさと納税返礼品、ネット販売、とっとり花回廊等に販路を拡大。今後は健康食品として認知度を高め、地域住民の消費拡大や生産者の増加等により地域農業の振興を図る。
- 労力のかかる収穫作業では、鳥取大学の農村ボランティアと交流して人手を確保するなど交流人口の拡大を図っている。

〒683-0351 西伯郡南部町法勝寺341
 0859-66-3121 sakura_hosshouji_1@yahoo.co.jp



しろいたにこうぼう
白谷工房
 廃棄される木材に新たな価値を創造する

概要

- 平成24年に設立し、日南町の奥地・白谷地区にある廃園となった保育園に寄木細工のアトリエを構える。
- 建築現場などで出る木材の廃材を利用して寄木細工のアクセサリや日用品などを製作・販売するとともに、都市部の企業等と連携して商品開発を行っている。
- 寄木細工のワークショップの開催、SDGs教育や修学旅行の受入れを通じて地域内外の方々に交流・学びの場を提供し、森林の多様な価値や日本の伝統的なものづくり技術を伝えている。



白谷工房の中村代表

成果

- 廃材を利用して寄木細工のアクセサリや日用品などを製作・販売し、地域の雇用を創出するとともに、都市部の企業等と連携して商品開発を行うなど地域の産業創出にも貢献している。
- 寄木細工の体験等で親子連れや大学生などの若い世代が工房を訪れることにより地域の賑わいを創出するとともに、関係人口や交流人口が拡大するなど波及効果を生んでいる。



「交流・学びの場」の寄木細工のワークショップ

〒689-5671 日野郡日南町福塚1002-1
 0859-83-0180 nakamura@shiroitani-koubou.com

関連情報はこちら ▶



ひのぐんちようじゅうひがいたいさくきょうぎかいじっしたい 日野郡鳥獣被害対策協議会実施隊

地域住民と連携して農作物を守る

概要

- 平成25年12月に日野郡3町（日南町、日野町、江府町）で「日野郡鳥獣被害対策協議会」を設立。
- 平成26年4月に実施隊を設置し、実行部隊として「捕獲」に頼らず地域住民が「地域ぐるみで被害を減らす」体制の構築や対策の講習、普及活動を行っている。
- 侵入防止柵を設置する集落へは、設置前基本研修や施工研修を行うとともに、施工時には手本を見せるなど、柵の設置による被害減少の効果を感じられるよう取り組んでいる。



集落講習会の様子

成果

- 実施隊による集落講習会などの実施地区は、令和5年度末時点で日野郡全集落の約8割にのぼり、地域住民の意識が「捕獲」から「どのようにして被害を減らすか」に変容し、適切に対策を行えば効果があることが理解された。
- 侵入防止柵の設置総延長が取組当初より4倍以上増加したことで、農作物被害の減少につながっている。



ワイヤーメッシュ現地施工研修

〒689-4503 日野郡日野町根雨140-1
0859-72-1399 hino-choju@sea.chukai.ne.jp

地方
奨励賞

のうじくみあいほうじん みやいち 農事組合法人 宮市

地域の農地は地域で守る。

概要

- 平成7年設立。宮市集落を中心に、離農や高齢化で営農継続が困難となった農地を引き受け、面積を拡大。
- 日野特別栽培米研究会、奥大山プレミアム特別栽培米研究会に参加し、水稻の特別栽培に取り組む。
- 地域の福祉施設や水工場の食堂へ出荷。道の駅など直売所では独自のパッケージで販売。ふるさと納税の返礼品にも出品。
- データ駆動型農業を目指しており、アグリノートやザルピオを活用。今後はドローンを導入し、たん水直播やドローン可変施肥に取り組み、規模拡大を図る。



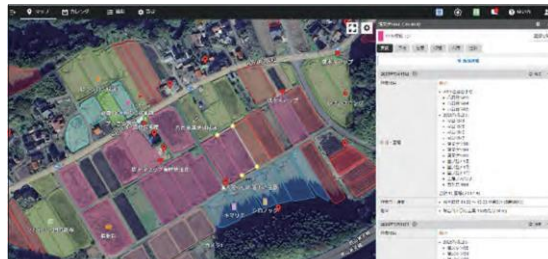
食味コンテスト受賞



学生ボランティアとの獣害対策作業

成果

- 個人での営農継続が困難となった農地を集積し、地域の生産基盤の維持に貢献。
- 特別栽培農産物認証を取得し、特別栽培米コシヒカリを生産。良食味米生産にこだわり施肥設計を研究しており、多くの食味コンテストで受賞し、江府町の良食味米として認知度が向上。
- 学生ボランティアなど関係者と共同で獣害対策作業を行うなど、関係人口を創出。
- 今後の規模拡大に向け、省力化やDX化を加速。



電子圃場管理+栽培記録

〒689-4421 日野郡江府町宮市150-1
0859-72-3753 miyaichi7121@gmail.com

関連情報はこちら ▶

